

○5月分要約

- ・合併は現在考えるべきでない。(津市)
- ・新市の名称は津市。各市町村は区として配分。(久居市)
- ・合併により中心部への集中が進み、周辺地域との格差が広がる。大きな合併になると行政と住民の距離がますます遠くなる。(芸濃町)
- ・議員数削減。職員削減。各地にある箱物の削減、運営見直し。市名「安濃津市」。(津市)
- ・町の名称について、合併を機に改編してほしい。(津市)
- ・一日も早く合併され、今後の10年20年先を考え、歴史に残る議論をしてほしい。(久居市)
- ・合併については、住民投票で決定されたい。合併するとすれば、出来る限り行政のスリム化をするべきである。(久居市)
- ・合併市町村の現在の財政状況(借金)の情報を公表すること。(津市)
- ・きちんとメリットとデメリットを示した上で住民投票を行ってほしい。(津市)
- ・市町村合併の各市町村の財務諸表を各々公表し、合併市町村住民の賛否を取り付ける必要がある。(津市)
- ・合併による規模拡大ときめ細い住民対策は基本的に両立させることは、出来ることを前提にして問題解決されたい。(久居市)
- ・合併により経費・人員の削減を必ず達成し無駄を無くすこと。(津市)
- ・津市と合併すると思いついて話を進められていますが、合併していいかどうかを、市民の意見を聞いてから進めて欲しい。(久居市)
- ・広域になると公共施設がとうのき不便になるので、どう考えているのか知りたい。(芸濃町)
- ・不必要な箱物を周辺町村で作っている現状は合併するに価しない。(津市)
- ・広くなりすぎる。各地域の特性がある。行政の諸費用が少なくなる利点があると思う。津市の名を消さないで。(津市)
- ・合併の方式 新設(対等)合併。合併期日 平成17年1月1日。市長・市議選出の上、平成17年3月1日にスタートするため。新市の名称 津市又はつ市。事務所の位置 現在の津市役所。(津市)
- ・合併に関して、どのような波及効果があるのかについての根拠を示してほしい。(津市)
- ・駆け込み起債工事がある場合は、必ず合併前に清算完了するようにしてほしい。(津市)
- ・学校給食や下水道使用料は、合併前と同じサービスであってほしい。(安濃町)
- ・合併賛成。合併前の庁舎建設は、反対。(芸濃町)
- ・協議会の運営について、住民の意思は充分汲み上げられていないので、各市町村で合併の可否を問う住民投票を実施すべきである。住民への行政サービスがより充実させることを最重点の目標として協議がすすめられるべきである。(久居市)
- ・県都、津市の名称は残してほしい。(津市)
- ・美杉村太郎生は、名張市との合併を希望している。(美杉村)

- ・合併しても旧市町村の形で議員を2人なり3人位を置けるような選挙制度があって欲しい。(美杉村)
- ・美杉村太郎生地区の住民の多くは、名張市との合併を希望している。美杉村を分村合併できないのか。(美杉村)
- ・新市名称は、三重の中心となるイメージのもので新しい名称にしてほしい。(久居市)
- ・合併により諸施設をやたら建設するのではなく、建設完成后どれだけの利用率があるのか、綿密な研究調査が必要です。新市の名称は津市に賛成です。(久居市)
- ・住民のためにならない規模の拡大よりも、全国一のコンパクトな(人口の少ない)県都として津という一字のみの、特異な市名とともに津市の位置づけをした方がよい。(津市)
- ・新市の名称について、将来道州制が施行される事を考え三重と云う地名言葉を残すと云う意味からも「みえ市」はどうか。(津市)
- ・河芸町は鈴鹿市と合併することが町民の利益になる。(河芸町)
- ・積極的に迷わず市町村合併を大胆に進めてほしい。(美杉村)
- ・一般市民にわかりやすく具体的な情報を定期的に市政だよりに掲載してほしい。(津市)
- ・一志町は一志町で町政をやれば良い。(一志町)
- ・合併後、バスで中心街の津市まで行き来できるようにしてほしい。(美杉村)
- ・合併協議会を津市ばかりで行わず、順番に市町村を廻ってください。傍聴もしやすくなります。(美杉村)
- ・押付け合併は絶対反対。もっと市民団体にメリット・デメリットを出して自治会等で話し合いをすべきである。(津市)
- ・合併後、現住所名を残してほしい。(久居市)
- ・幼稚園、中学校での給食が合併した時はそれがどうなるのか心配です。学校の職員について、郡内での異動が多いけど、合併後は市内の先生にも来てほしい。(安濃町)
- ・新市の名称は津市でいい。(一志町)
- ・津市を核として安芸郡と香良洲町とすべきで、久居市を核として一志郡関係をまとめるのが良い。(津市)
- ・合併すれば職員等が大幅に不要となる。このお金で山林作業者を常備として間枝や広葉樹への転換を明日からでも進めてほしい。(一志町)
- ・恵まれた美杉村を、地域住民だけで守ろうとせず、大都会の住民と共々後世に残し、広く広域行政を進めながら地域自治組織制度の創設を推し進め、津地区合併後も広くいき届いた住民に対する行政サービスをお願いしたい。(美杉村)
- ・合併反対。(津市)
- ・中心からはずれた白山町でも都市計画税は課せられるのか心配です。現在津市を除く市町村は国保税の算定基準に固定資産税の税額を上乗せしているので、一考をお願いしたい。(白山町)

・合併後の市の名称を多くの住民より公募して決めると住民の参加意識を更に高めることになり、今後の運営によりプラスになるものと思う。(津市)

・合併は賛成、合併後の議員をかなり数を減らす事等よく考えてほしい。(津市)

・10市町村の合併は地の理から見てもベストである。(津市)

・新市の名称について合併後の新市名は「津市」が良い。(津市)

・新市の議会議員の定数は、人口比の2割減とし、合併後1年以内に選挙を行うこと。歳費は現津市の議員歳費を越えないこと。特別職、一般職の職員の定数も年次計画をたて10年で2割程度の削減を行うこと。事務組織及び機構を簡素化すること。補助金・交付金等は大幅にカットし、自立・自助を基本に収支の均等を計ること。(津市)

・全国で県庁所在地である意味からも三重市にしたらよい。(一志町)

・大きな市などが中心になり回りの町村などに事細やかな取扱いが出来にくいという様な事にならない様にしてほしい。(一志町)

・市の名前について、津市が一番良い。(一志町)

・市町村の住民から賛成、反対等の意見も聞かずに、どんどん中央だけで、ここまで合併の話が進んでいるのはとても不満です。(津市)

・市制施行以来、114年の伝統ある全国唯一、各字の一文字の現市名を「新市名」としてほしい。(津市)

・合併前の駆け込み事業について、どうしても必要なものは合併後にしてもらいたい。議員数も特例でなく合併時選挙で新議員を選出してもらいたい。(津市)

・県都にふさわしい文化的香り漂う都市づくりを目指すべきである。(津市)

・合併が決定したこと自体が不満です。町村名がなくなり歴史もなくなるように思える。新市の名称は、従来どおり「津市」がよい。(津市)

・「始めに合併ありき」で事が進められて、メリットばかり強調されていますので、かえって住民の間で不安という不満が広がっている。(久居市)

・津市との合併には、反対。久居市としては一志郡内との合併を考えるべきである。(久居市)

・新しい市の名称については、全国的にも知名度が高い「津市」とするのが良い。(久居市)

・合併は出来る限りしないのが宜しいかと思う。「その村」「その町」「その市」に特長もありそれぞれをのばして行った方がよい。(津市)

・合併ブームに踊らされている感がある。単に、人口を増やす為だけで、本質も分からず、合併を進めようとする津市側の行政のやり方には納得がいかない。合併は将来に向って重大な責任がある。(津市)

・新市名は住民の意向を尊重すること。合併に際しての重要な部分の一つは新市名「三重市」とすることについて協議会で討議されたい。(久居市)

・合併の必要性はわかりますが、行政の枠組みにとらわれず、地区住民の希望に沿った合併で有って欲しい。最後に「津市」の名前は残してほしい。(津市)

・津市にとって合併はマイナス要素が大きすぎるが、合併が避けられないものであるなら、議員だけ地位が保障されるような特例は認めるべきではない。(津市)